

宮地病院 診療担当医師一覧表

	午前診 受付8:30~11:30 診察9:00~12:00					午後診			夜間診 受付17:00~19:00 診察17:30~19:00			研修日
	内科	整形外科	総合診療科	もの忘れ外来 心療内科	もの忘れ 外来	検査	糖尿病 外来	もの忘れ外来 心療内科	もの忘れ外来	内科	整形外科	
月	宮地 高橋(宏) 金澤	美馬		根布		内視鏡：濱田 都築		根布 14:00~16:30		金澤	三輪(第1-3週) 豊田(第2-4週)	
火	宮地 9:00~16:00 濱田	下野	嵯峨山	根布				根布 14:00~16:30				高橋(宏)
水	宮地 金澤 高橋(宏) 都築	藤本		根布	原 9:30~12:30 完全予約			根布 14:00~16:30				濱田 美馬
木	濱田 都築	安水	嵯峨山				福岡 14:00~17:00 完全予約		西谷(第2-4週) 14:00~17:00 完全予約			金澤
金	高橋(宏) 濱田 都築 高橋(弥)	美馬		小林		内視鏡：宮地 金澤 大腸カメラ：濱田(午後のみ) 都築(午後のみ)				濱田	美馬	嵯峨山
土	金澤 久野	美馬	嵯峨山									

・午前の診察は予約の方優先です。・宮地(火曜日)は完全予約となります。◎無料医療相談 毎土 9:00~12:00 高橋・濱田

本山リハビリテーション病院
診療担当医師一覧表

◎当院は完全予約制となっております。
◎入院相談、退院後フォローも実施しております。
◎診察時間 9:00~12:00

	内科	ボトックス TMS外来	リハビリ 神経内科
月	柱本		
火			
水			佐藤
木			
金	柱本		
土		月1回 山田 9:00~16:00	

宮地病院理念

私たちは、患者様の立場に立ち、いつでも、どこでも、どなたにも心のこもった医療、温かい介護を提供することを目指します。

本山リハビリテーション病院理念

私たちは、患者様の立場に立ち、心のこもったリハビリテーション医療・ケアの提供により、いきいきとした生活を送ることができるよう支援します。

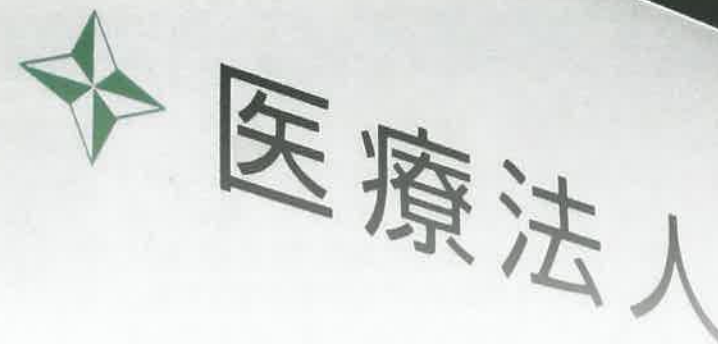
患者さまの権利

- 患者様は、人間としての尊厳が尊重され、安全で良質な医療を平等に受ける権利を持っています。
- 患者様は、受ける医療について十分な説明を受け、よく理解した上で自らの意思で医療の方法を選択する権利を持っています。
- 患者様は、自分の診療記録の開示ならびにほかの医療者の意見を求める権利を持っています。
- 患者様は、個人情報の秘密が保護される権利を持っています。
- 患者様は、他の患者様や職員による医療提供に支障を与えないよう配慮し、療養に専念する義務があります。
- 患者様は、安全で良質な医療を実現するために自己の健康に関する情報を正確に提供する義務があります。



医療法人明倫会 宮地病院
住所/〒658-0016 神戸市東灘区本山中町4-1-8
TEL/078-451-1221 FAX/078-431-0080
URL/<http://www.meirinkai.or.jp/>
eメール/miyajji-hp@ksn.biglobe.ne.jp

本山リハビリテーション病院
住所/〒658-0015 神戸市東灘区本山南町7-7-15
TEL/078-412-8080 FAX/078-412-8787
URL/<http://www.meirinkai.or.jp/motoyama/>
eメール/motoyama-reha.hp@meirinkai.or.jp



2019. 1.29 vol.64

KAKE
HASHI

明倫会ニュース



地域医療を支える
わたしたちの今年の抱負

○医療法人明倫会

理事長 宮地千尋



医療から介護、福祉そして住まいへ。今年サービス付き高齢者向け住宅「潮騒の家」の竣工により、地域で最後まで看るための選択肢がまた一つ増えます。まだ若いから、あるいは自分はまだまだ元気だから、と置いていても明日のことはわかりません。本当に「その人らしく生きる」を支えるために最期をどのように迎えるかは大切です。悔いの無い人生は毎日をよりよく、満足して生きることです。利用者さん、患者さんばかりでなく、サービスを提供する私たちも「その人らしく生きる」ために日々支え合って1日1日を大切にしたいと思います。

○宮地病院 院長 高橋宏二



医学がいくら進歩しようと医療従事者にとって最も大切なものは変わりません。患者様のことを自分の家族と思って接する愛情ある行動こそが大切なのです。科学に出る幕がなくなっても医療者が出る幕は多々あります。病める人のことを心から思い笑顔で優しい言葉をかけること、手を握ったりさすったり、話を聞いてあげることなど優しさや愛情を降り注いで上げることで心穏やかにされます。新年を迎え初心に帰り新たな抱負とさせていただきます。

○本山リハビリテーション病院

院長 大洞慶郎



職員の方々の努力と皆様方のご協力があり、本山リハビリテーション病院は7月で開院6年となりますが、おおむね順調に推移しております。高齢者の増加など医療情勢も変化してきており、さらに年号も変わります。今年の当院は基本方針を遵守しつつも周囲の環境の変化にも柔軟に対応していきたいと考えております。皆様方のご協力とご指導をよろしくお願いいたします。

○宮地病院・本山リハビリテーション病院

看護部長 伊勢眞佐子



少子、超高齢、多死時代の中、病院・介護施設・在宅・サ高住でよいサービスを提供するために看護師、介護職共に人材確保に努め、辞めない職場作りをスタッフと一緒に考えながら実現していきたいです。また、皆様が幸せと思われるように接することが私たちの天職です(働ける喜びを感じながら)。地域の要望に応え小回りの利く明倫グループとなるよう多職種で地域の皆様とコミュニケーションを図り連携をとっていきます。

○医療法人明倫会 事務部長 岡本聖敏



昨年はグループの情報共有の強化、およびそのスピードアップを図るためグループウェアを導入致しました。今後は、グループの一体的運営の強化に取り組みたいと考えております。本年2月には、明倫グループの総力を結集して、地域社会のニーズに応えるべくサービス付き高齢者向け住宅「潮騒の家」を東灘区青木にオープン予定です。ご支援をよろしくお願いいたします。

診療部長 濱田浩一郎

今年も昨年同様に無理せずペースを保ちながら(仕事とプライベートを両立しながら)皆様とともに一年を無事に過ごせるようにしたいと思います。



内科 金澤義純

お陰様で私も入職してはや4年目になりました。入職以来、在宅医療の充実・強化を目指してきましたが昨年度は多少の増減を繰り返す程度で良いご報告が出来ない状態です。しかしながら本年1月に竣工予定のサービス付き高齢者向け住宅「潮騒の家」に入居される方を宮地病院の在宅医療でサポートさせて頂くことになりましたので、本年は当該施設で尽力して参る所存です。皆様も何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



内科 都築祐子

大阪で再び万博が開かれる事が決まりましたね。テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」サブテーマは「多様で心身ともに健康な生き方」だそうです。ぜひ2025年、一緒に未来を垣間見る事ができますように。



総合診療科 嵯峨山健

新年明けましておめでとうございます。平成最後の新年を迎えました。様々な出来事がありました30年間でしたが、新たな御代も平穏な時代でありますようお願いのみです。本年も至極一貫、責任ある医師として、日々精進し、微力ながら地域の医療に貢献いたしたいと思っております。



整形外科 美馬弘

今年の目標であった運動不足解消のためのジム通いは、なかなか果たせずじまいでした。今年こそは体調管理に努めていきたいと思っております。本年も整形外科を盛り立てていきますので、宜しくお願い致します。



もの忘れ外来・心療内科 根布昭彦

「自分」がいつになく意識されている時は、ろくな面接が出来ていません。一精神科医の立場からは、面接中での治療者としてのroleを可能な限り少なくする、即ち患者様の自助活動が基本で、あくまでそこに協力する様な形で関わる治療スタイルを意識したいです。



脳神経外科 本崎孝彦

急性期病院の脳神経外科から本山リハビリテーション病院回復期病棟に勤務し、早くも6年が過ぎました。ようやく回復期リハビリテーションの意義と有用性が理解できるようになりました。今年も皆様と共に頑張っていきたいと思っております。



リハビリテーション科 山口淳

今年、元号が変わりますが、早くも国内外でコンピュータ予測した新元号を含む商標が数多く登録されているそうです。個人的には、いかなる状況でも先走りせず、マイペースで愚直に過ごせる一年にしたいと思っております。



リハビリテーション科 澤井健

今までの新年の抱負は、患者様それぞれの目標にあわせた医療を提供し、その土台の一翼を担えるように努力すると言うものでした。今後も患者様のニーズにあわせた医療がより充実するように努力していく所存です。



リハビリテーション科 佐藤友治

高齢化が進み、リハビリ目的で入院される患者様もたくさんの合併症をお持ちの方が増えています。安心してリハビリが行えるように、リハビリの進み具合だけでなく全身状態の管理もしっかりと行っていききたいと思っております。



内科 柱本圭子

今年は東京オリンピックや大阪万博に向けて日本はより一層活気づく年になりそうです。社会に大きな貢献はできなくても、何が出来るかをしっかり考え、自分にできることを少しずつやっていきたいと思っております。



リハビリテーション科 前田耕三郎

50歳になり、自分の健康に注意しなければならなくなりましたが、充実した毎日を過ごせるように頑張っていきたいと思っております。



ドクターアドバイス

「褥瘡(じょくそう)について」

宮地病院
総合診療科
嵯峨山健



褥瘡(じょくそう)について皆さんはどのようなイメージを持たれているのでしょうか?日本では古くから長い間寝たきりの患者さんに起ることから「床ずれ(とこずれ)」と呼ばれています。この呼び方のほうが馴染みがあるかもしれませんが、健康な方には無縁の疾患と思われませんが、高齢で寝たきりの患者さんが入院されている病院や、在宅・施設等で寝たきり状態の方には無視できない疾患です。日本褥瘡学会では、体に加わった外力が骨と皮膚表面の間の軟部組織の血流を低下、あるいは停止させ、この状況が一定時間持続されると組織は不可逆的な阻血性障害に陥

り褥瘡になると定義されています。つまり褥瘡とは、骨とベッドなどの硬い面との間で皮膚や皮下組織が圧迫されることにより、循環障害を起し、組織が腐ってしまう(壊死)病態といえます。褥瘡の原因となるのは外力です。この外力は単純に体の重力によるものだけでなく、ベッドなどの摩擦の力、ズレカも大きな要因となります。例えばイスに座った状態を考えてみてください。この状態では殿部に体重による重力と、皮膚とイスとの摩擦が生じています。長い間この姿勢のまましていると、お尻が痛くなってきますね。そうすると腰を浮

かせて体勢を変えたりして、上手くこの力を逃がしてやりますね。しかしこの状態のまま何時間も、何日間もじっとしていれば間違いなく褥瘡が発生してしまいます。寝たきりで身動きができない患者さんならどうでしょうか?痛くても声の出せない患者さんならどうでしょうか?このように褥瘡は自分自身で予防することは困難であり、まわりの人が注意しなければ防ぐことができない疾患なのです。褥瘡は慢性創傷と呼ばれるように、一般的な切り傷に比べて難治性で治療期間が長くかかってしまうことも特徴です。一旦発生してしまうと

治療に難渋することが多く、いかに褥瘡を発生させないようにするか、褥瘡の予防が重要です。褥瘡のできやすい場所は仙骨部・殿部ですが、骨が突出している背部や肩、踵や後頭部などにも発生することがあります。このような褥瘡を予防するため、日本褥瘡学会では褥瘡予防・管理のガイドラインが示されています。そこで推奨度A(行うよう強く勧められる)とされている項目は、体圧分散寝具を使用することです。前述のように、体に加わる圧力、体圧が褥瘡の原因ですから寝たきりの患者さんの体圧を上手く分散させる寝具・

マットが必要です。現在宮地病院でも高性能な体圧分散寝具「エアマットレス」を導入し、また「ポジショニング」と呼ばれる、患者さんが安全で安楽に感じる安定した体位を患者さん毎に検討して、日々褥瘡の発生防止に努めています。褥瘡の治療方法については大きく分けて、外科的治療と保存的治療があります。前者は文字通り壊死組織を切除・除去したり、そうして生じた皮膚欠損部に植皮を行ったりする方法です。壊死組織があれば創傷治癒の障害になるため、早急に壊死組織の除去が必要になります。保存的治療は軟膏を塗布したり、ドレッシ

ング剤とよばれる創傷被覆材を用いる治療方法です。大事なことは創の状態をよく観察することです。褥瘡は日々状態が変化するため、それに応じて治療方法を選択、変更することが大切です。今後ますます高齢化がすすむ医療現場や在宅で褥瘡は避けられない問題です。褥瘡は自分自身で予防することが困難であるとともに、一人の医療者だけでは予防や治療できるものでもありません。多くの職種の間で連携してケアする疾患です。在宅で褥瘡のことでお困りの方がおられましたら是非一度、気軽にご相談ください。